

学院創立

100周年

記念講演会

主催：明治国際医療大学／同窓会「なごみ会」・「救明会」

2025年
6/22日

明治国際医療大学
谷口健蔵記念講堂

参加費
無料

未来に
繋ぐ種

第1部／10:30～
第2部／13:00～

学長
講演

大学の将来展望について
明治国際医療大学
学長 勝見 泰和



第1部／10:30～(受付 10:00～)

対象者：地域住民・本学同窓生・農業系高校の生徒・教職員

記念講演①

環境と身体と社会をつなぐ
食農からの新しい研究と地域づくり
～京都・南丹からの発信～

明治国際医療大学 教授／
京都大学 名誉教授
農学部設置準備室長
秋津 元輝



第2部／13:00～(受付 12:30～)

対象者：本学同窓生・在校生

記念講演②

医療従事者が持つべき
精力善用・自他共栄の心

京都府立医科大学大学院
リハビリテーション医学 教授
三上 靖夫



記念講演③

医療系職業人としての
アイデンティティとは

明治国際医療大学
救急救命学科 教授
平出 敦



明治国際医療大学

Meiji University of Integrative Medicine

〒629-0392 京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1
TEL:0771-72-1181

看護学部 看護学科

保健医療学部 救急救命学科

農学部
食農エコロジー学科(仮称)
設置構想中

保健医療学部 柔道整復学科

鍼灸学部 鍼灸学科

一般・同窓生の
申込はこちら▶



学院創立100周年記念講演会

大正14(1925)年の創立から100周年を迎えた本学は、
次の100年に繋ぐため、これまでに培った東西両医学の「医」の力を礎に、
本学ならではの「医食同源」を目指します。

▼第1部

10時30分～	学長挨拶・学長講演
11時00分～	記念講演 ①
12時00分	終了

▼第2部

13時00分～	学長挨拶・学長講演
13時30分～	記念講演 ②
14時30分～	記念講演 ③
15時30分	終了

講演 内容

学長講演

大学の将来展望について

明治国際医療大学
学長 勝見 泰和

記念講演 ①

50分

環境と身体と社会をつなぐ 食農からの新しい研究と地域づくり ～京都・南丹からの発信～

地球環境への負荷低減が求められるなか、私たちは未来をどのように生き延び、また食べ延びていくのか。身体によい食べ物は自然環境にも人間社会にもよいという理想型を実現するために、地域生態系と共生した食と農のあり方について、科学と政策を総合した視座から構想する。それは、自然に親しい地方社会の見直しであるとともに、19世紀以降の近代農学からの転換でもあり、本学新農学部の一概念となることを説く。

明治国際医療大学 教授／
京都大学 名誉教授
農学部設置準備室長
秋津 元輝



記念講演 ②

50分

医療従事者が持つべき 精力善用・自他共栄の心

40年前に整形外科医としてキャリアをスタートし、脊椎疾患の患者との出会いをきっかけに、手術だけでなくリハビリテーション医療の重要性を実感。医療者は日々研鑽を積み、得た知見や技術を患者に還元することが「精力善用」であり、患者が願う幸せに向かい、関連職種と情報を共有し協同するリハビリテーション医療こそ「自他共栄」であると考え。嘉納治五郎の理念に通じるこの考えが、医療や社会のあるべき姿であり、本講演会の開催意義にも通じると信じる。40年を振り返り、感じ取ってきたことをお伝えしたい。

京都府立医科大学大学院
リハビリテーション医学 教授
三上 靖夫



記念講演 ③

50分

医療系職業人としての アイデンティティとは

アイデンティティとは、一種の「自分らしさ」のことである。大学にもアイデンティティがあり、また、医療系学科にも、それぞれアイデンティティがある。卒業後、看護師として、あるいは救急救命士として経験を積みながら自分なりの信条やスタイルを形成していく中で、大学で学んだ「自分らしさ」が、必ず、よりどころとなるはずである。学院創立100周年の機会に、明治国際医療大学のアイデンティティ、医療系職業人としてのアイデンティティについて考える。

明治国際医療大学
救急救命学科 教授
平出 敦



開催場所 明治国際医療大学 谷口健蔵記念講堂

開催時間 第1部／10:30～(受付10:00～) 第2部／13:00～(受付12:30～)

Access

自動車

京都縦貫自動車道
「園部IC」から約10分
大型駐車場を完備!

※詳細は、本学ホームページをご覧ください。

JR駅前スグ

山陰本線「鍼灸大学前駅」
下車スグ
京都駅から約60分



明治国際医療大学

Meiji University of Integrative Medicine

100th
Anniversary